

2016名古屋研修会 「みんなの悩み、みんなで支え合おう！」 ～職場や地域 職種をこえて手を取り合って～



子どもの発達支援を考えるSTの会 全国研修会

2016年12月3日(土) 4日(日)
13:30～16:30 9:30～15:30

会場 ウィンクあいち (JR名古屋駅から徒歩2分)
アクセス <http://www.winc-aichi.jp/access/>

プログラム

1日目 13:30～

講演会 Sekigahara Projectと
山口清明氏(関ヶ原病院作業療法士)
「職種をこえた連携の取組と感覚統合」

グループトークは
日頃の疑問について
約10グループの
テーマを準備中。

「Sekigahara Project」は
従来の「訓練」ではなく、みんなが
「Happy」になれる方法を提案。

2日目 9:30～

午 前「テーマ別グループトーク」
昼食時「ランチョンセミナー」中川信子氏
午 後「ポスターセッション」

昼食時間に、
子どもSTの会代表
中川信子氏による
「訓練と支援に代わることば」
についてのミニ講演会。

今回初の試み。
「ポスター発表」を介しての
質疑応答。

参加費 2日間 会員4,000円 非会員5,000円 学生2,000円
1日のみ 会員2,000円 非会員2,500円 学生1,000円
定員 両日それぞれ120名程度(定員になり次第締切)
申し込みは下記サイト「こくちーズ」から

1日目 <http://www.kokuchpro.com/event/st20161203/>

2日目 <http://www.kokuchpro.com/event/st20161204/>



12月3日



12月4日

お問い合わせ 2016名古屋研修会実行委員会
ST-nagoya2016@ypost.plala.or.jp

実行委員長 原 純一郎

『2016名古屋研修会』のご案内

子どもの発達支援を考えるSTの会では、年に一度全国研修会を行っています。
今年度は「多職種との連携」をテーマに、初めての試みとして、会員以外の方も全プログラムにご参加いただけます。
共に子どもの発達支援について考えてみませんか？ST以外の職種の方、学生の方もお待ちしております。

プログラム詳細

1日目 [12月3日 (土)]

13:30

開場・受付

14:00

講演「職種をこえた連携の取組と感覚統合」

「Sekigahara Project」によるTED形式のチームプレゼンテーションと、
国保関ヶ原病院OT、山口清明氏による感覚統合についての講演

16:30

終了予定

2日目 [12月4日 (日)]

9:30

開場・受付

9:45

グループトーク ※各テーマは下記

12:00

ランチョンセミナー 講師：子どもの発達支援を考えるSTの会代表、中川信子氏

13:15

ポスターセッション

14:30

グループトーク報告会

15:30

閉会予定

Sekigahara Project

舞台は関ヶ原。幸福（Happy）追求を第一に考え
子どもの障がいの程度に関わらず「理想とする暮らしや夢」を子どもと家族が自ら描き、どうしたらできるかを考え、共に創る。Happyからはじまる数々の物語。

TED形式のチームプレゼンテーション

共通のテーマを元に、様々な視点から様々な人が入れ替わりプレゼンテーションを行う形式。
従来のプレゼンテーションと違った、インパクトのある展開にご期待ください。

山口清明氏

平成19年に大阪医療福祉専門学校夜間部を卒業。
国保関ヶ原病院に作業療法室及び発達外来を開設。
神奈川県立保健福祉大学大学院長谷龍太郎研究室に在籍。

障がいのある子どもや家族が、訓練という発想から脱却し、自分らしく誇り高く生きて行くハビリテーションを追求。

【グループトーク】 実際に関わっている方から話題提供として20分間話をしていただいた後、自由に話し合います。
参加申込時に**必ず第3希望まで**お答えください。

テーマと話題提供者の職種	はじめの話の KEY WORDS
①保育園幼稚園・学校との連携・支援：ST	・ことばの教室で働く（就学前の発達支援） ・担任、加配、コーディネーターの先生との連携 ・支援をつなぐ
②特別支援学校とST等の関わり：特別支援学校教諭	・特別支援学校はどんなところ ・外部専門家からの支援 ・特別支援学校の職員として働くST
③多職種の連携：ST	・ST一人の職場で働く ・多職種との連携 ・子育て応援としての取り組み
④保護者支援：ST	・子どもの行動の理解を助けること（通訳） ・親子の生活と人生とを視野に入れる ・support より work together
⑤子どもの育ちを促す地域保健の役割：保健師	・乳幼児健診、育児相談、家庭訪問、電話相談でのかわり ・保護者と仲良くなることが「はじめのいっぽ」 ・親のイライラと子のイライラをニコニコにするために
⑥発達障害：ST	・コミュニケーション支援と発達課題 ・自己理解を紡ぐ関わりと支援 ・幼児期から就労期までの関わり
⑦放課後デイ：ST	・個別、集団指導における言語聴覚士の役割 ・コミュニケーションの豊かな経験の場 ・生活場面のスキルアップと、余暇活動の充実

ポスターセッション

参加者から公募しているポスター発表です。
応募希望の方は実行委員会までお問合せください。

＜お問合せ先＞

2016名古屋研修会実行委員会 ST-nagoya2016@ypost.plala.or.jp
実行委員長 原 純一郎 (090) 4255-9687